さぁ、答え合わせをしよう！

第20週目 11／30 行ってみよう～静岡県（しずおかけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～静岡県（しずおかけん）

1. 弥生時代（やよいじだい）に静岡県で米づくりがいち早く広まったのは、次のうち、どの地域（ちいき）ですか？
　正解：②西部

弥生時代（やよいじだい）と古墳時代（こふんじだい）の静岡県（しずおかけん）では、西部と東部でさまざまな違（ちが）いが見られます。米づくりにおいても、県の西部で古く、東部は少しおくれて始まったようです。正解は、②西部です。

2. 高尾山古墳（たかおさんこふん）の墓（はか）の形は、どれ？
　正解：③前方後方墳（ぜんぽうこうほうふん）

高尾山古墳（たかおさんこふん）は、東日本で最古級（さいこきゅう）かつ初期としては最大級の古墳（こふん）であり、同時期（どうじき）・同規模（どうきぼ）のものとしては、長野県松本市（ながのけんまつもとし）の弘法山古墳（こうぼうやまこふん）のみとされています。高尾山古墳（たかおさんこふん）は、畿内（きない）に統一的王権（とういつてきおうけん）が成立する前に、東日本でも独自（どくじ）に古墳時代（こふんじだい）への移（うつ）り変わりがあったことを示す、重要（じゅうよう）な遺跡（いせき）です。正解は、③前方後方墳（ぜんぽうこうほうふん）です。古墳（こふん）と判明（はんめい）する前までは、後方部の高まりには高尾山穂見神社（たかおさんほみじんじゃ）が、前方部には熊野神社（くまのじんじゃ）が鎮座（ちんざ）していました。

3. 押出シ遺跡（おんだしいせき）から見つかった土器（どき）の模様（もよう）から、他の地域(ちいき)との交流（こうりゅう）がわかります。それは、どこ？
　正解：②中部地方や関東地方

東駿河湾（ひがしするがわん）に環状道路（かんじょうどうろ）をつくる工事で見つかった、押シ出遺跡（おんだしいせき）は、縄文時代中期（じょうもんじだいちゅうき）の初めから終わりにかけての遺跡（いせき）です。発掘（はっくつ）当時、特に注目（ちゅうもく）を集めたのは、土器（どき）・土製品（どせいひん）・石器（せっき）などが、コンテナにして800箱を超える膨大（ぼうだい）な量に達していたことです。正解は「お宝ベスト5」2つ目にあるように、②中部地方や関東地方でした。

4. 伊場遺跡(いばいせき）から出土した、細かい彫刻（ちょうこく）と朱が塗られた遺物（いぶつ）は何ですか？
　正解：①短甲（たんこう）

静岡県（しずおかけん）の「お宝ベスト5」3つ目を読めば、わかりますね。正解は、①短甲（たんこう）です。短甲（たんこう）は、戦（たたか）いが起こるようになった弥生時代（やよいじだい）以降（いこう）に登場（とうじょう）しますが、実戦（じっせん）で使われたほか、死者を埋葬（まいそう）する時、災（わざわ）いから身を守るための物でもあったようです。伊場遺跡（いばいせき）から出土（しゅつど）した木製の短甲（たんこう）は、日本で最も古いものの一つと言われており、朱（しゅ）の漆（うるし）が塗（ぬ）られ、幾何学模様（きかがくもよう）の彫刻（ちょうこく）がほどこされています。ちなみに、この遺跡（いせき）の発見者は、なんと中学生！ ひろった土器（どき）の破片（かけら）を先生に見せたことが、始まりだったんですよ。

5. 原分古墳（はらぶんこふん）から見つかった馬具（ばぐ）や副葬品（ふくそうひん）は、何時代のものですか？
　正解：③古墳時代（こふんんじだい）

原分古墳（はらぶんこふん）は、別名『火ノ雨塚（ひのあめづか）』、あるいは『山の神古墳（やまのかみこふん）』ともよばれています。直径約17m の円墳（えんぷん）で、南に開口（かいこう）した横穴式石室（よこあなしきせきしつ）からは、人骨（じんこつ）のほか、家形石棺片（いえがたせっかんへん）、銀象嵌（ぎんぞうがん）の鍔（つば）や柄頭（つかがしら）、金銅装大刀（こんどうそう たち）など、豪華（ごうか）な副葬品（ふくそうひん）がたくさん出土（しゅつど）しました。正解は、③古墳時代（こふんじだい）。道路建設のため、南東へ数十 m の場所へ移築（いちく）・復元（ふくげん）されています。